

第6次基本構想（令和5年度～令和12年度）

まちづくりの基本理念

個人の尊重

共生の充実

自治の発展

共生の充実『パラハートちょうふ〜ひろげよう、つなげよう、共に生きるまち〜』

まちの将来像 『ともに生き ともに創る 彩りのまち調布』

まちの将来像
キャッチコピー 『ともに彩る CHOFUTURE』 ※調整中

まちの将来像の実現に向けた
3つの柱

市民が主役のまちづくり

市民のための市役所づくり

計画的な行政の推進

8つの基本目標

基本目標1 安全に安心して
住み続けられるために

基本目標2 安心して子どもを産み育てられ、将来を
担う子ども・若者が力を発揮できるために

基本目標3 みんなで支え合い、いつまでも
心穏やかに暮らすために

基本目標4 学びやスポーツを通じ、だれもが
充実した毎日を過ごすために

基本目標5 多様性を認め合い、安心して
自分らしく暮らせるために

基本目標6 調布ならではの魅力にあふれ、
活気に満ちたまちにするために

基本目標7 地域の特徴を活かした快適で
利便性に富むまちをつくるために

基本目標8 豊かな自然と人が共生する、
持続可能なまちをつくるために

次期基本計画（令和5年度～令和8年度）の概要

■基本的な考え方

- 現行基本構想・基本計画におけるまちづくりの基本目標、施策体系等の基本的な枠組を継承
- 市を取り巻く社会潮流や新たな課題への対応を踏まえ2030年代を展望した計画として策定

■計画の前提

- 人口
令和4年3月実施の将来人口推計を基本
- 財政
財政の健全性維持を基本に、税制改正や社会状況の変化等を捉えた市税や各種交付金等の収入見通しの下、子育て施策や教育、高齢・障害者福祉等に関する経費や公共施設やインフラの老朽化対応など、次期基本計画期間中における財政需要を踏まえた財政フレームを作成
- 個別計画との整合
既存または今後策定する個別計画の基本的な方向や主な取組内容などとの整合を図り、各計画が有機的に連動するよう各施策・事業を整理

■計画期間

年度	和暦 (西暦)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
基本構想		新たな基本構想(8年間)							
基本計画		前期基本計画(4年間)				後期基本計画(4年間)			
市長任期		→				→			

■計画の構成(案)

現行の基本計画の5編（総論、重点プロジェクト、分野別計画、行革プラン、地域別計画）の構成を基本に、3つを施策横断テーマと施策の推進・成果向上の視点を追加

- 総論
次期基本計画の位置付け、計画の前提となる人口・財政等、市を取り巻く社会潮流などを踏まえた計画策定の視点、施策の体系などを提示
- 重点プロジェクト事業
次期基本構想に掲げたまちの将来像実現に向けて、市長任期との連動性も考慮しつつ、次期計画期間内に特に重点的に取り組む必要がある事務事業を抽出し、横断的に関連付けを図る
- 分野別計画
8つの基本目標に沿った施策体系を基本に、各施策の取組状況に加え、取り巻く環境の変化や新たな課題への対応などを踏まえ、2030年代を展望しつつ分野別の将来像の具現化を図る
- 行革プラン
まちの将来像の実現に向けた3つの基本的な姿勢を柱として基本計画の各施策・事業を着実に推進していくため2つの市政経営の基本的な考え方に基づき、行政改革の具体的な取組を示す
- 地域別計画
東部・北部・南部・西部の各地域の特性を踏まえた、今後のまちづくりの基本方向を提示

次期基本計画の構成(案)

総論

基本計画の位置付け、計画期間、構成、基本計画の特色、施策体系策定にあたっての前提（人口、財政、土地利用）

5つの重点プロジェクト

- ①防災・減災、防犯、感染症対策
- ②子育て家庭支援、子ども・若者支援、教育
- ③地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、健康づくり
- ④都市計画、市街地整備、道路整備、交通、産業・観光振興
- ⑤脱炭素社会実現に向けた取組、循環型社会形成、崖線・緑地保全、公園整備

施策横断連携テーマ

Renewal

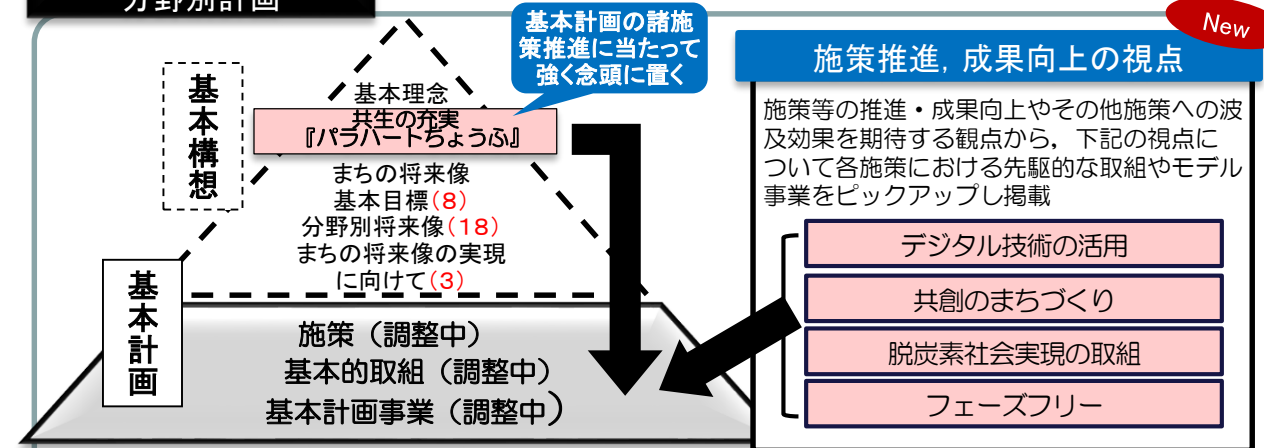
施策を横断する重要課題について施策横断テーマとして整理

①安全・安心の確保と市民生活支援

②地域共生社会の充実

③にぎわいと活力、うるおいのまちづくり

分野別計画



計画の推進(行革プラン)

※個別プランや基本的取組等について検討中

共創のまちづくりの実践

New
行政のデジタル化推進

効率的な組織体制の整備

人材の確保・育成

計画行政の推進

New
公共資産の最適化(ファシリティマネジメント)

地域別まちづくり

東部・北部・南部・西部の各地域の特性を踏まえた、今後のまちづくりの基本方向

次期基本計画の骨子（案）について②

パラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

次期基本計画の骨子(案)について③で特集

5つの重点プロジェクト、分野別計画のポイント (令和4年9月30日時点)

次期基本計画のイメージ(案)

まちの将来像 『ともに生き ともに創る 彩りのまち調布』

まちの将来像
キャッチコピー

ともに彩る CHOFUTURE (調整中)

「花開く調布のまち」から
共生の理念の下 安心して豊かに暮らせる
「彩りのまち」に変化させていく



基本計画の諸施策
推進に当たって
強く念頭に置く

2030年代の未来の調布
を見据えて

共生の充実

パラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

5つの重点プロジェクト

施策横断連携テーマ

安全・安心の確保と市民生活支援

地域共生社会の充実

にぎわいと活力、うるおいのまちづくり

2023年の調布から

デジタル技術の活用

共創のまちづくり

施策推進
成果向上の視点

脱炭素社会の実現

フェーズフリー

のびやかに前進し、花開く新時代の調布

基本計画策定の視点

1 調布のまちの骨格づくりの大きな節目

京王線の地下化を契機に南北一体の都市基盤に取り組んできた中、次期基本計画期間には、調布駅前広場及び鉄道敷地整備が最終段階となるなど『調布のまちの骨格づくり』は大きな節目を迎える

2 オリパラレガシーの継承・発展

ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会が調布のまちで開催されたことによるまちづくりの多面的効果をレガシーとして継承・発展させるとともに、とりわけ「パラハートちょうふ」を標榜し多様な主体と連携した取組を『共生の充実』につなげていく

3 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症は、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、今なお、その収束は見通せず、感染動向を注視する中で、感染症対応の3つの柱に基づく対応を継続

4 重要課題への対応

ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素・循環型社会の形成、「どこでも市役所」の実現に向けた市民サービスのデジタル化、行政内部のデジタル化、地域社会のデジタル化の視点を踏まえた、誰ひとり取り残されない、人に優しいデジタル化の実現に向けた取組、調布スマートシティ協議会によるデジタル技術を活用し、多様な主体が連携した持続可能な社会的課題の解決に向けた取組の推進 など

パラレガシー「共生の充実」による施策の推進

○第6次基本構想においてまちづくりの基本理念として掲げた、パラレガシーとしての「共生の充実（パラハートちょうふ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち～）」を強く意識しつつ、基本計画に位置付けた諸施策の推進を図る。施策の推進に当たっては、年齢、性別、国籍、障害の有無などによって分け隔てられることのない「人にやさしいまち」を目指す取組を継承・推進し、更に発展させる。

5つの重点プロジェクト

○次期基本構想に掲げたまちの将来像実現に向けて、新基本計画期間内に特に重点的に取り組む主要事業について、優先性を踏まえた選択と集中の観点から、引き続き5つの重点プロジェクトとして位置付け、取組を推進

	重点プロジェクト（案）	施策分野（重点プロジェクト事業は調整中）
1	（仮称）安全・安心に住み続けられるまちをつくるプロジェクト	防災・減災、防犯、感染症対策
2	（仮称）安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるまちをつくるプロジェクト	子育て家庭支援、子ども政策連携（子ども・若者支援、ヤングケアラー支援）、教育
3	（仮称）みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らせるまちをつくるプロジェクト	地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、健康づくり
4	（仮称）地域の特徴を活かした快適で利便性に富む、にぎわいと活気に満ちたまちをつくるプロジェクト	都市計画、市街地整備、道路整備、交通、産業・観光振興
5	（仮称）豊かな自然と人が共生する持続可能な脱炭素・循環型のまちをつくるプロジェクト	脱炭素社会実現に向けた取組、循環型社会形成、崖線・緑地保全、公園整備

施策横断的連携テーマ

○重点プロジェクトをはじめとする横断的に取り組む主要な課題として、安全・安心の確保と市民生活支援、地域共生社会の充実、にぎわいと活力、うるおいのまちづくりについて、施策横断的連携テーマとしての位置付けを図る

重点プロジェクト横断テーマ（案）	主な連携テーマ
1 安全・安心の確保と市民生活支援	①感染症対策（重点1） ②気候変動に伴う災害対策の改善強化（重点1） ③市民生活支援等の継続的取組（負担軽減・相談支援・雇用機会確保等）（重点1・3）等
2 （仮称）地域共生社会の充実	①妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援（重点2） ②子ども施策連携（子ども・若者支援、ヤングケアラー支援）（重点2） ③地域におけるトータルケア推進（重点2・3） ④地域包括ケアシステム（重点3）等
3 （仮称）にぎわいと活力、うるおいのあるまちづくり	①にぎわいと活力、うるおいのあるまちづくり（中心市街地基盤整備、賑わい創出による商業振興、東部地域の交通環境改善、農地の保全活用、崖線・緑地保全、公園整備）（重点4・5） ②脱炭素社会の実現、循環型社会形成に向けた取組（重点4） ③映画のまち調布の推進（地域資源を活用した観光振興（重点4）等

施策推進・成果向上の視点

○基本計画に位置付けた施策の推進及び成果向上に加え、他の施策への波及効果を期待する観点から、デジタル技術の活用、共創のまちづくり、フェーズフリー、脱炭素社会実現に向けた取組の視点について、各施策における他自治体等における先進的な取組や市におけるモデル事業をピックアップ

施策推進等の視点（案）	主要な取組
1 デジタル技術の活用	（仮称）デジタル化総合戦略に基づく市民サービスの向上、事務の効率化等の取組
2 共創のまちづくり	産学官民の多様な主体との連携、とりわけ調布スマートシティ協議会における持続可能な市民サービス提供に関する先駆的取組
3 フェーズフリー	日常と災害時を区別せず、各施策目標の達成と災害対応充実の両面の実現を目指す、付加価値の高い取組
4 脱炭素社会の実現	各施策目標の達成と脱炭素社会実現の両面の実現を目指す付加価値の高い取組

○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の大会ビジョンには、「多様性と調和」という基本コンセプトが掲げられました。調布市は、大会開催を契機として、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、「パラハートちょうふ」のキャッチフレーズを掲げ様々な分野で取組を展開しています。

○このキャッチフレーズには、「市内外の多くの方々障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う気持ち、手を取り合って暮らせる共生社会を充実したい」という思いを込めています。この思いとともに、市は、すべての人々が障害の有無、国籍、性別などによって分け隔てられることなく、一人ひとりの個性が尊重され暮らしやすいまちを目指します。

大会を契機とした取組の継承・発展

令和3年度

ソフト面の取組

障害理解の促進

- ◆パラハート月間（毎年12月）を活用した障害理解の促進
- ◆パラハート冊子（2022年版）の作成
- ◆パラハート啓発用グッズの作成
- ◆パラアート展の実施
- ◆ほっとハートの実施（調布・府中・多摩3市合同による福祉作業所自主製作品販売会）
- ◆心のバリアフリー、ヘルプマークの普及啓発
- ◆バリアフリーハンドブックの作成
- ◆情報バリアフリーの推進、音声コードの普及・活用
- ◆東京2020大会のために作成したDVD等を活用した市職員研修の実施 など



障害者スポーツの推進

- ◆多様な主体と連携した障害者スポーツ体験会の実施
- ◆「調布市障害者スポーツの振興における協議体」の活用による障害者のスポーツ活動機会の創出
- ◆FC東京あおぞらサッカースクール（障害児・者フットサル事業）の実施
- ◆ほりで一ぷらん（障害者余暇活動支援事業）の実施
- ◆東京都市町村ポッチャ大会の実施
- ◆日本車いすバスケットボール連盟との連携による「車いすバスケットボール Chofu エキシビジョン マッチ inむさぶら」の実施
- ◆日本ブラインドサッカー協会との連携による市内小学校での「スポ育」の実施 など



ハード面の取組

バリアフリー化・移動の円滑化の推進

- ◆公共施設のバリアフリー化の推進（避難所（小・中学校体育館）の段差解消、地域福祉センターの内装改修（手すりの設置・和室の洋室化）・備品装備など）
- 人と環境にやさしい道路整備（スタジアム通り・品川通りバリアフリー化、遮熱性舗装など）
- 事業者と連携・協働による移動等円滑化の取組の推進
- トイレの洋式化（市公共施設のトイレ洋式化率90%）
- サポートベンチの設置、公園・ポケットパークの整備
- 多言語を含む公共サインの整備推進
- Wi-Fi環境整備、多言語マップの作成
- 音声案内装置の設置
- 市内飲食店・商店におけるバリアフリー設備等の設置促進 など



<人と環境にやさしい道路の整備> <サポートベンチ>



令和5年度～

施策分野別の取組による共生社会の充実

まちの将来像

ともに生き ともに創る 彩りのまち調布

まちづくりの
基本理念

個の尊重

共生の充実

自治の発展

子ども

学校・家庭・地域及び行政が連携しながら、次代を担う“調布っ子”の健やかな成長を支援し、一人ひとりの個性が尊重され、安心して学び成長できる環境づくりに取り組みます。

- ◆子どもの健やかな成長の支援
 - ◆児童虐待防止対策・いじめ防止対策
 - ◆困難を抱える子ども・若者の自立に向けた支援
 - ◆ヤングケアラー支援
 - ◆子育て家庭の支援
 - ◆子どもの貧困対策
 - ◆人権教育の推進 など
- 【子ども・子育て家庭の支援（現行施策04）】【学校教育の充実（現行施策05）】【青少年の健全育成（現行施策06）】

高齢者

高齢者が住み慣れた地域で安心して、生きがいを持って元気に暮らすことができる地域づくりを推進します。

- ◆支え合いの地域づくりの推進
 - ◆ケアラー（介護者）への支援
 - ◆高齢者虐待の防止 など
 - ◆認知症高齢者等への支援
 - ◆高齢者の社会参加と生きがいづくり
- 【高齢者福祉の充実（現行施策08）】

障害者

一人ひとりのニーズに応じた生涯にわたる切れ目ない支援を行い、共に暮らす地域社会の実現を目指す中で、その人らしい自立した生活の充実が図られるよう取り組みます。

- ◆相談等支援体制の充実
 - ◆医療的ケアへの支援体制の整備
 - ◆障害理解・バリアフリー化の促進
 - ◆芸術・文化を通じた共生社会の充実（パラアート展の実施） など
 - ◆障害福祉サービスによる生活支援
 - ◆障害者の就労支援
 - ◆障害者スポーツの振興
 - ◆余暇活動支援の充実
- 【障害者福祉の充実（現行施策09）】【活力ある産業の推進（現行施策16）】【市民スポーツの振興（現行施策14）】【芸術・文化の振興（現行施策19）】

男女共同参画

性別にかかわらず、全ての個人が喜びや責任を分かち合い、個性や能力を十分に発揮することができる社会の形成に取り組みます。

- ◆調布市男女共同参画推進プラン（第5次）に基づく取組の推進
 - ・性別役割分担意識の解消
 - ・人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり
 - ・あらゆる暴力（DV）の根絶
 - ・女性の活躍推進
 - ・生活上の困難に対する支援 など
- 【人権の尊重・男女共同参画社会の形成（現行施策31）】

多様性

多様な性における人権が尊重され、だれもが社会のあらゆる分野で理解し合い、能力、個性を發揮できる社会の実現に向けた取組を推進します。

- ◆多様な性における人権の尊重と理解促進
 - ◆同性パートナーシップ制度の導入 など
- 【人権の尊重・男女共同参画社会の形成（現行施策31）】

外国人

多様な文化への理解を深め、地域社会の仲間として、安心して共に暮らすことができる多文化共生の地域づくりに取り組みます。

- ◆国際理解・国際交流の推進
 - ・国際理解講座の実施
 - ・サウジアラビアとの文化交流
 - ◆外国人の生活支援の推進
 - ・通訳・翻訳事業
 - ・日本語学習の支援
 - ・外国人専門家相談会の実施
 - ◆多文化共生の推進
 - ・地域人材の育成
 - ・「やさしい日本語」の普及啓発 など
- 【平和・国際交流施策の推進（現行施策30）】

次期基本計画の骨子（案）について④

施策の推進，成果向上の視点

デジタル技術の活用の視点

共創のまちづくりの視点

脱炭素社会実現の視点

フェーズフリーの視点

基本計画に位置付けた施策の推進及び成果向上に加え，他の施策への波及効果を期待する観点から，基本構想におけるまちづくりの社会潮流や課題を踏まえ，デジタル技術の活用，共創のまちづくり，フェーズフリー，脱炭素社会実現に向けた取組の視点について，各施策における他自治体等における先進的な取組や市におけるモデル事業などをピックアップ

併せて，これらの視点の複合的な活用により更なる施策推進及び成果向上を目指します。



デジタル技術の活用の視点

国や東京都がデジタル化に関する方針（デジタル田園都市国家構想，Society5.0など）を打ち出す中，市としても，デジタルディバイド対策に十分な配慮を行いつつ，行政手続きや市民サービスにおけるデジタル技術やデータを活用した市民の利便性の向上を目指し，積極的な取組を推進します。

<各施策における主な取組>

- マイナポータルの子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）【施策4】
- デジタルディバイド解消【施策7・8・9・13】
- オンライン相談窓口【施策2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15】
- オンラインでのフレイル予防・健康増進【施策8・11】
- 交流・相談支援 AIケアプラン作成【施策2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・14】
- DX活用の健康づくり【施策3・8・9・11・13・14・15】
- キャッシュレス決済の導入促進【施策全般，行革プラン】
- 文化・芸術作品等の保護と鑑賞機会の創出【施策19】
- 交通サービスの導入の促進【施策25】など



共創のまちづくりの視点

多様化・複雑化する行政課題や市民ニーズに的確かつ柔軟に対応するためには，行政が様々な主体と協力しながら施策を展開していくことが不可欠です。市では，福祉，環境，防災などの様々な分野で市民や団体などが活発に活動しており，今後も，こうした多様な主体と行政とが適切な役割分担の下，ともに考え，ともに行動する，参加と協働による共創のまちづくりをより一層発展させていきます。併せて，調布スマートシティ協議会など，産学官民の知見や特性を活かし，創意工夫の下，連携・協働しながら，市における社会的課題の解決に向けた取組を進めていきます。



<各施策における主な取組>

- 地域住民やボランティアの協力による余暇活動の充実【施策13・15】
- スマートシティ推進の取組【施策1・8・11・14・15】
- 地域の多様な主体による支え合い体制の整備【施策1・7・8・13・14】
- eスポーツを通じた多世代交流【施策7・8・9・11・13・14・15】など



脱炭素社会実現の視点

市の地球温暖化対策では，市民・事業者・市が協力・連携し，調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に位置付けた様々な取組を推進することで，温室効果ガスの削減および再生可能エネルギーの導入を促進しています。市民一人一人が地球温暖化及び気候変動の問題に対する危機感を持ち，自分ごととしてとらえて意識し，行動を変える“かしこい選択”を積み重ね，広げていくことで，暮らしを変え，未来の脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指しています。

<各施策における主な取組>

- 電気自動車の導入促進【施策26，27，28】
- 公共施設における再生可能エネルギーの利用促進【施策26】
- 省エネルギー住宅の促進【施策23，26】
- シェアサイクルの促進【施策25，施策26】
- 暑熱対策の推進【施策1，26，29】
- 循環型社会の形成，分別推進等による温室効果ガスの削減【施策26，28】
- フェーズフリーの考え方に基づく取組との連携による一層の施策推進・成果向上【施策1，26】



フェーズフリーの視点

フェーズフリーとは，平常時（日常時）や災害時（非常時）などのフェーズ（社会の状態）を区別せずに，その両方での価値を高め，施策目標の達成と災対策の充実の両面の実現を目指すもので「“いつも使いのモノやサービス”が“もしもの災害時”にも役立つ」といった考え方です。例えば，防災用品はほとんどが普段はしまっておいて非常時に取り出して使うものですが，フェーズフリーの考えを取り入れたモノやサービスは，日常時のいつもの生活で便利に活用できるのはもちろん，非常時にもその効果が発揮されるものです。

このような考え方について市は，これまででも文化会館たづくりにおける地下水利用システムやクリーンプラザふじみにおけるごみの焼却で発生する熱エネルギーの有効活用，小中学校の体育館における発電機付き空調設備や校舎給水タンクの（緊急遮断弁活用による）非常時の活用など，施設・設備整備において活用してきました。今後は基本計画に位置づけをを図る中で，こうした面での活用に加え，教育や子育て，福祉や環境，地域コミュニティ等におけるソフト面での活用を図ることで，各施策と災害対策両面での取組推進と成果向上を目指していきます。

<フェーズフリーの考え方を取り入れた各施策における主な取組（案）>

- フェーズフリーのまちづくりアドバイザーの活用による先進事例を参考とした取組推進【全施策】
- 施設・設備，物品の災害時の転用を想定した防災備蓄品及び資機材の配備【施策1】
- 子育て家庭支援，子ども・若者支援，健診等の各種健康施策における活用【施策4，6】
- 保育園や学童クラブ，児童館における遊びやイベント，野外活動での活用【施策4，6】
- 学校教育及び社会教育分野での学習及び体験活動における活用【施策5，13】
- 消費，観光・商業，農業，スポーツ，生涯学習，文化芸術の各種イベント・催しの備品の活用【施策3，13，14，16，17，18，19】
- 自治会・地区協議会などのコミュニティ活動支援等での活用【施策15】
- 地域福祉・高齢福祉・障害福祉など福祉分野における活動等での活用【施策7・8・9】
- グリーンホールや文化会館たづくり，市庁舎等の調布駅周辺大型公共施設等での整備における活用【行革プラン】
- 総合福祉センターなど福祉施設の整備等での活用【施策7，8，11】
- 住宅の耐震化の推進，分譲マンションの適正な管の支援，空き家の予防保全と円滑な利活用等での活用【施策23】
- グリーンインフラはじめ，下水道施設機能の維持保全，耐震化の促進など脱炭素社会実現の取組との連携強化等における活用【施策26，27，28，29】

